

おおの議会だより

No.60
60.1.21



1月2日 横浜 ミツ沢球技場(写真 大野高校提供)

大野高校サッカー部

全国大会で善戦

215回 12月定例会

5議案を修正可決

58年度決算認定は継続審査

第215回定例会市議会は12月13日招集され、会期を21日までの9日間と定め、理事者から提出の議案21件を審議しました。その結果、企業管理者設置に関する条例および予算関係の5議案について論議が集中。会期を25日まで4日間延長し、慎重に審議した結果、これらの議案第67号・68号・71号・72号・73号の5件を修正可決しました。議案第76号「昭和58年度大野市歳入歳出決算認定について」は決算特別委員会を設置、継続審査としました。その他の15議案については原案を可決。市民の皆さんから出された請願・陳情は別掲のとおり決めました。

審議日程

- 13日 本会議（会期の決定、議案上程、提案理由の説明）
- 17日 本会議（一般質問、決算特別委員会の設置及び委員の選任、各案件委員会付託）
- 18日 委員会（産業経済・建設）
- 19日 委員会（教育民生・総務）
- 20日 委員会（決算特別）
- 21日 本会議（会期延長）
- 25日 本会議（各委員長報告質疑・討論・採決、追加議案の提案理由説明、質疑・討論・採決）

市政をきく 一般質問から

は、地域経済の景気浮揚ということもあるので、出来るだけ積極的な予算編成をしたい。

赤根川の水の 市街地通水について

企業管理者の 設置について

問 上下水道事業の一体的な推進のために企業管理者を設置したいということであるが、市長の水行政全般に対する基本的・具体的な政策がはっきり示されていない現在時期尚早でないか。

答 現在、上水道は水道課、下水道は建設課と、それぞれ別の機構で担当しているが、当市は両事業とも地下水との関係があるので、スムーズに進めるためには同じ機構の中で検討することが最も望ましいと考えられるので、管理者を

設置したい。また、時期尚早との意見であるが、本年は例年になく特に早いうちから天候による異常渇水が予想されたので、生活用水の不安を解消するためにも、こうした部門を設置して早期に対応するのが望ましいと思う。

60年度予算編成について

問 60年度予算要求額は本年度の5%減となっているそうであるが編成方針を伺いたい。

答 一般経費については5%減とし、無駄を省き極力節約したい。しかし、公共事業費等について

問 冬期間の水不足を補うため、赤根川の水を開成中学校前～市役所前～一番・二番・城町へ通すように水路の整備を進めているが、今冬の降雪期には水が通せるのか。

答 冬期間、農業用水として堀兼から取り入れている3.5トンの水を有効に市街地へ引いて来るよう努力しているが、どうしても不足するので、赤根川の水を三番線まで引いてくるようにするものである。これで市街地西部地区が全面的に解決できるほどではないが、水の少ない地区に多少でも増やせるものと思う。

現在、鋭意工事を進めており、降雪期には間に合うものと思っているが、水量が十分だとは決して

市会案第八号	市会案第七号	第八十二号	第八十一号	第八十号	第七十九号	第七十八号	第七十七号	第七十六号	第七十五号	第七十四号	第七十三号	第七十二号	第七十一号	第七十号	第六十九号	第六十八号	第六十七号	第六十六号	第六十五号	
大野市議会委員会条例の一部を改正する条例案	昭和三十九年度大野市一般会計補正予算案の修正について	改正する条例案	昭和三十九年度大野市一般会計補正予算(第三号)案	昭和三十九年度大野市南部第二土地区画整理事業特別会計補正予算(第三号)案	昭和三十九年度大野市水道事業会計補正予算(第三号)案	昭和三十九年度大野市簡易水道事業特別会計補正予算(第四号)案	昭和三十九年度大野市国民健康保険事業特別会計補正予算(第二号)案	昭和三十九年度大野市一般会計補正予算(第四号)案	昭和三十八年度大野市歳入歳出決算認定について											
原案可決	否決	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃

いけない。水が流れても無計画に雪を投げ入れると下流地域に流れないことになるので、水の有効利用について市民の協力を得るよう努力したい。

障害児教育について

問 障害児をもつ保護者は子供の将来についていろいろと心配や不安を抱いている。障害の原因となる傷病の早期発見・早期治療が大切であるが、市としてどのような取り組みをしているのか。

答 乳幼児については生後6カ月1歳半・3歳児のそれぞれの検診を行って、健康管理の指導をしているのははじめ、各地区の母子推進委員と保健婦が密接な連絡を取りながら、健全育成に努めている。

障害のある幼児については、市を通じ医療機関や県の療育センターで治療をしている。また、障害児の保育については民間保育園に



言語治療教室でことばの指導をする指導員

委託している。

さらに、小学校で7学級、中学校で2学級の特殊学級を設けて特別に指導している。新年度で中学校に1学級増を県へ申請、ほぼ設置されるものと期待している。

まちづくり特別対策事業 取り組みについて

問 今回の予算の中で国鉄駅横(旧貨物駅跡地)に建設する建物の設計のため、まちづくり特別対策事業設計委託費として1,300万円を計上しているが、この事業の基本的な構想や施設の中に入る団体などが決まっているのか。また、管理運営をどのようにするのか。

答 この事業は地域経済の活性化を図るため、それぞれの自治体が個性あるまちづくりを進めるものであり、当市は本年9月に自治省から指定された。まだ、どの団体が入るのか具体的には決まっていないが、今後、管理・運営等を含めて各機関と協議し、一日も早く着工出来るよう努力したい。

市立病院の見通しについて

問 市立病院の建設は市民の切実な願いである。設立については用

地の確保、資金の調達、医師の確保等の問題について準備が必要と思う。そのための第1歩を踏み出す時期に来ているのではないかと。

答 市立病院については、これまでいろいろ検討を重ねているが建設は困難である。しかし、何らかの公的医療機関を設置することは当市の念願である。現在、地域医療協議会でも他市の公立病院の実態や運営状況等を調査している。

今後、医師会との話し合いを進めるなど努力したい。

婦人問題の 取り組みについて

問 1975年に国際婦人年が宣言されて9年になるが、その間当市は婦人問題についてどのような取り組みをしたか。また、婦人教育や市女子職員の能力開発等についても考え方を伺いたい。

答 行政としての総合的な窓口は総務課行政係になっているが、婦人問題については国の施策や行政指導を受けながら進めたい。

教育面については教育委員会を中心にしながらも、特に生涯教育という面から市の機構を挙げて関係する所管で取り上げていきたい。

女子職員の研修については国・県の研修に積極的に派遣したい。

議案番号	件名	結果
第六十二号	昭和五十九年度大野市一般会計補正予算(第二号)	原案可決
第六十三号	昭和五十九年度大野市国民健康保険事業特別会計補正予算(第一号)案	"
第六十四号	昭和五十九年度大野市老人保健特別会計補正予算	"

議案等の審議結果

委員会報告

各委員長報告から

●総務委員会

①NHK大野通信部の廃止問題について

60年8月をもって大野通信部が廃止されるとのことであるが、存続について関係機関に対し強力に運動をすべきである。

②旧町名の復活について

請願者の意見を十分聞き、出来る範囲内で何らかの方法を講じられたい。

●建設委員会

①市道の登記について

道路敷地として市が買収した土地は速やかに登記されたい。

②水道料金の一平化について

各施設の格差をなくするため、今後料金の一平化に向けて一層の努力をされたい。

●産業経済委員会

①水田利用再編円滑化推進事業について

農家の理解を得、農協等と十分協議して進めるべきである。

②ふるさと観光物産センターについて

国鉄の旧貨物駅跡地に建設予定の観光物産センターは、管理運営面や利用度の面等から、国鉄駅を包含した建物にすべきである。

決算特別委員会

委員長 杉本夏男 副委員長 田原哲也 委員 砂子三郎 宮本 弘 斉藤秀雄 推井清男

請願・陳情審議結果			
番号	件名	提出者	結果
請願17号	花房区集落センター建設補助について	花房区長 三足義昌 外21名	採 択
請願18号	民間保育行政について	大野市民間保育園連合会 代表 篠島諫一 外26名	採 択
請願19号	日本専売公社福井支局富田葉たばこ取扱所跡地払下げについて	下麻生島区長 小村和夫 外5名	採 択
請願20号	川上区集落センター建設補助について	川上区長 麻生哲也 外3名	採 択
請願21号	織物業界の救済対策について	大野織物工業協同組合 理事長 稲山喜代二	採 択
陳情17号	重度身体障害者のタクシー料金の扶助について	健康友の会代表 加藤七郎 外14名	採 択
陳情18号	農道の市道編入について	橋爪区長 幾山利夫 蓑道区長 北山真一	採 択
陳情19号	大野荘増築工事に対する補助金について	社会福祉法人大野福祉会 理事長 桑森邦夫 救護施設大野荘 施設長 松田正治	採 択
陳情20号	市道の変更について	蓑道区長 北山真一	採 択
陳情21号	大野小唄保存会に対する助成について	大野小唄保存会 代表 万月静代	採 択
陳情22号	中丁区集落センター建設補助について	中丁区長 嶋田 正 外20名	採 択
陳情23号	福井県立大野高等学校の移転新築に対する尽力について	福井県立大野高等学校 P T A会長 山田文雄	採 択
陳情24号	市道認定について	新庄区長 尾崎暉雄 飯降区長 木下政治 深井区長 田中秀孝	採 択
請願9号	旧町名復活について	旧町名復活市民の会 会長 大門俊我 外13名	採 択
請願13号	鍼灸マッサージ療養費の交付改善措置について	大野市保険鍼灸マッサージ師会 酒井 清 外15名	採 択
請願15号	外国人登録法の改正について	在日本朝鮮人総連合会福井県奥越支部 常任委員 李 考一	継続審査
陳情7号	鉄骨加工業者の経営安定化について	大野鉄工金属協同組合 代表理事 安間利夫	不採 択
陳情10号	市発注の諸施設について 量に関するものの分離発注について	大野畳同業組合 組合長 畳谷 剛	不採 択
陳情14号	幹線農道の市道編入について	小矢戸 区長 石本二男	不採 択
陳情15号	大矢戸区一部市道昇格について	大矢戸 区長 竹島重雄 外7名	採 択